

# 2021 年度 CSR 総括表

\*担当部署責任者による、2021 年度計画に対する実績の自己評価 (★★★: 達成度 80% 以上、★★: 達成度 50% 以上、★: 達成度 50% 未満)

	項目 / 重要課題 (マテリアリティ)	目標 / あるべき姿	2021 年度計画	自己評価*	2021 年度報告・成果	2022 年度計画	解決する SDGs
企業 基盤	コーポレート・ガバナンス ガバナンスの強化	当社「コーポレートガバナンス・ガイドライン」を指針に、公正かつ透明性の高いクレハグループの経営を推進する。	・取締役会の実効性、「内部統制システムの運用状況」のレビュー ・各委員会審議事項のグループ内展開の推進	★★★	・取締役会の実効性評価と内部統制システムの運用状況のレビューを完了し、コーポレートガバナンス報告書と事業報告にレビュー結果を開示 ・グループ総務会で内部統制のポイントを再周知	・「取締役会の実効性」、「内部統制システムの運用状況」のレビュー ・各委員会審議事項のグループ内展開の推進	15
	リスク管理 事業継続計画 (BCP) の充実	リスク・マネジメント体制を確立し、不測の事態発生時、損失を最小限に留めて企業活動が継続できる体制を確保する。	・再構築された体制に基づくリスク・マネジメント活動の定着 ・指針周知による社内およびグループ内の BCP 定着	★★★	・リスク分類表を見直し、重要リスク対応策を策定し実施 ・「新型コロナウイルス対応ガイドライン」および「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」の作成を完了し、ポータルサイトに公開	・グループ各社におけるリスク・マネジメント活動の定着 ・指針周知による社内およびグループ内の BCP 定着	11
	情報管理 情報セキュリティ対策の強化	情報セキュリティ事故を発生させない。 事故発生時には、適切な情報開示と迅速な復旧を行う。	・情報セキュリティ事故発生 0 件 ・情報セキュリティリスクアセスメントの実施対象部署における重要対策の完全遵守 ・研究、生産設備における情報セキュリティ対策の実施	★★★	・情報セキュリティ事故発生 0 件 ・当社 22 部署、グループ会社 3 社において情報セキュリティリスクアセスメントを実施し、重要対策が完全遵守されていることを確認。 この定期的なリスクアセスメントの実施により、当社で発生し得る情報セキュリティ脅威と管理策の理解深化 ・情報セキュリティ対策を、研究、生産設備のモデル部門で試行し、それに基づき、実効性の高い対策に改善	・情報セキュリティ事故発生 0 件 ・情報セキュリティリスクアセスメントの実施対象部署における重要対策の完全遵守 ・新しいサイバー攻撃への対策強化 ・研究、生産設備における情報セキュリティ対策の実施	9
	コンプライアンス コンプライアンスの徹底	すべての経営層・従業員が、企業活動において、法令・社会的規範やその精神を遵守し、社会的良識を持って行動する。	・従業員に対するコンプライアンス教育の実施 ・グループ各社においても各種コンプライアンス教育を実施	★★★	・全従業員を対象に e ラーニングを実施することにより、コンプライアンスに対する意識を向上 ・グループ会社においても各種コンプライアンス教育を実施	・従業員に対するコンプライアンス教育の実施 ・グループ各社においても各種コンプライアンス教育を実施	15
社会性	株主・投資家とともに 適時適切な情報発信と対話	クレハグループが社会から必要とされる存在として、広く理解され、信頼を獲得している。	・株主・投資家との対話機会の積極的な設定 ・非財務情報に関する説明の充実	★★★	・オンラインミーティングや証券会社主催のカンファレンスを活用することで、のべ 229 社 (対前年度 160%)、のべ 337 名と面談を実施。その結果、幅広い投資家に当社の事業戦略など、中長期的な企業価値向上についての情報を提供。また、投資家からの情報、要望を聞く機会が増加したことにより、経営層に報告する内容が充実 ・機関投資家の議決権行使部門や、議決権行使助言会社との面談により、ガバナンスのあり方など投資家の望み ESG 情報についての理解を浸透	・株主、投資家との対話機会の積極的な設定 ・投資家の投資判断に必要な情報の開示拡充	12
	お客様とともに 顧客対応の強化	「お客様満足のための基本方針・活動方針」に則した活動を推進し、顧客満足の向上に向け、継続的な改善に取り組む。	・お客様からのお問い合わせについて迅速かつ丁寧な説明の実施	★★★	・初期対応をほぼ当日で完了 (一部の特殊なケースを除く) ・調査報告をほぼ 2 週間以内で完了 (一部の特殊なケースを除く) ・当社家庭用品に対する苦情の原因究明と対策を実施していく過程での、さらなる改善点の明確化	・スピードとともに、それぞれのお客様に合った対応の実施 ・お客様からのお問い合わせについて迅速かつ丁寧な説明の実施	3, 12
	従業員とともに 人権尊重の推進	クレハグループ倫理憲章に則り、グループ全体で遵守する。	・入社時のコンプライアンス教育の実施	★★★	・新入社員にコンプライアンス教育を実施し、当社のコンプライアンス体制や人権尊重の考え方の理解促進 ・幹部社員昇進者にコンプライアンス教育を実施し、職場の管理者にとって必要な事項の理解深化	・入社時のコンプライアンス教育の実施	
	人財育成の推進	従業員一人ひとりが成長し、挑戦する意欲を持って活き活きと活躍できるよう、育成施策を推進している。	・従業員の自律的キャリア開発支援の実施 ・多様な人財の活躍に向けた取り組み	★★★	【キャリア面談】 ・従業員の「自律的キャリア開発支援」を体系化し、中長期的なキャリア開発支援の体制を整備 ・キャリア面談の対象を事務系人材へ拡大、若手キャリア意識創出・醸成研修を実施し、従業員のキャリア開発を支援 【教育支援】 ・階層別教育、グローバル人材育成、デジタル人材育成を実施し、従業員が役割を遂行するために必要な能力を習得する機会を提供 ・技術系人材向け PST プログラム、博士号取得支援を実施し、従業員の学びを支援 ・応募型研修およびセミナーを拡充、資格取得支援制度を拡充・整備し、従業員の学びを支援 ・ラインマネージャー等への評価者研修・コーチングを実施し、OJT における育成意識とマネジメント力を向上 ・女性幹部社員および女性幹部社員候補者の育成を実施し、多様な人財の活躍に向けた学びの機会を提供 ・シニアセミナーを実施し、65 歳定年までの自身の役割と会社からの期待に対する理解深化	・従業員の自律的キャリア開発支援の実施 ・多様な人財の活躍に向けた取り組み	3, 4, 5, 8, 10
	ワーク・ライフ・バランスの推進	従業員が仕事と生活の調和を保ちながら活き活きと働いている。	・ワーク・ライフ・バランスの推進施策の実施	★★★	【働き方】 ・勤怠管理システムの整備および時間外勤務削減・有給休暇取得などを啓発し、適正な労働時間管理や働きやすい労働環境整備の推進 ・各事業所で働き方改革に関する意見交換会を実施し、働き方改革の理解深化、また、働きやすさ・働きがいの向上に向けた施策策定のベース化 【コロナ禍】 ・新型コロナウイルス感染症への対応について、政府の指針などを踏まえ、基本的な感染防止対策の徹底や、フレックスタイムや在宅勤務の活用による出勤体制の見直しなどを行い、適切な対応を実施 【福利厚生】 ・従業員の福利厚生制度の利用向上を目的として、労使でカフェテリアプランのメニュー検討委員会を立ち上げ、健康増進や自己啓発に関するメニューを拡充	・ワーク・ライフ・バランス推進施策の実施	
	心と身体の健康管理	従業員の健康を守り、明るく活力のある職場を作る。	・従業員の心と身体の健康管理の取り組みの実施	★★★	【健康増進】 ・「健康経営優良法人 2022」に認定 ・スポーツの実施推奨の取り組みをし、「スポーツエールカンパニー 2022」および「令和 3 年度東京都スポーツ推進企業」に認定 ・ウォーキングイベント (健康主催) などへの参加を奨励し、生活習慣病予防や健康増進の実現に向けた取り組みを積極的に推進 【心の健康】 ・従業員およびライン管理職向けにメンタルヘルス e ラーニングを実施。実践的な対話スキルを学ぶことで、職場のコミュニケーションの活性化 ・所属長宛てに「ストレスチェック」組織分析結果を報告し、メンタルヘルス不調の未然防止など、組織のマネジメント向上を強化	・従業員の心と身体の健康維持・増進の取り組みの実施	
より良い社会のために / 地域社会とともに 地域社会との対話の強化	地域社会との共生と継続的なリスクコミュニケーションを通じ、社会から信頼される事業所となる。	【コミュニケーション】 ・地域団体などとの関係・連携の強化 【文化・スポーツ交流】 ・オールクレハスポーツフェスティバルの開催、地域行事への参加 【次世代育成】 ・見学やインターンシップの実施などを通じた教育支援の継続 【環境保全活動、その他】 ・地域清掃ボランティア、さんしゃいんクレハの支援、シルバー人材センターに周辺清掃を依頼など	★★★	【コミュニケーション】 ・CSR 地域対話集会および玉里工業団地連絡協議会を书面開催し、関係・連携の継続。地区協議会・自治会・地域団体との協力・連携を推進 (一部、コロナで中止) 【文化・スポーツ交流】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総じて中止 【次世代育成】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため一般見学は中止。可能な限り見学やオンラインツールを利用した見学を実施し、教育の場を提供 【環境保全活動、その他】 ・事業所周辺の清掃活動を実施、さんしゃいんクレハの業務支援 ・シルバー人材センターへの植栽の剪定や周辺清掃の委託により、地域の人材活用に貢献	【コミュニケーション】 ・地域団体などとの関係・連携の強化 【文化・スポーツ交流】 ・地域行事への参加 【次世代育成】 ・見学やインターンシップの実施などを通じた教育支援の継続 【環境保全活動、その他】 ・地域清掃ボランティア、さんしゃいんクレハの支援、シルバー人材センターに周辺清掃を依頼など	3, 4, 11	
R C	RC 活動全般 RC 活動の推進	クレハグループ各社において、RC 活動の各取り組みが継続的な改善をもたらしている。	・グループ全体での RC 活動の継続的改善 ・「環境」「安全」「品質」における取り組みの強化	★★★	・マネジメントシステムを活用し、各部署の環境保全・労働安全衛生を改善 ・グループ RC 協議会 (2 回実施) での意見交換や情報共有を通じ、グループ各社の RC 活動レベルを向上	・グループ全体での RC 活動の継続的改善 ・グループ全体での「環境」「安全」「品質」における取り組みの強化	
	環境保全 / エネルギー管理 地球温暖化対策の推進	温室効果ガス排出抑制とエネルギー使用合理化に継続的に取り組む。	・エネルギー原単位の年平均 1% 以上の減少	★★★	・エネルギー原単位 前年度比 5.5% 減少 ・設備改善や各種省エネ活動を推進	・エネルギー原単位の年平均 1% 以上の減少	
	大気汚染防止	排気物質の適正管理とリスク低減に継続的に取り組む。	・化学物質・臭気の排出抑制対策設備の維持管理と安定運転	★★	・PRTR 制度対象物質；排出量 (40 トン)、移動量 (369 トン) ・臭気苦情 0 件、騒音苦情 1 件	・化学物質・臭気の排出抑制対策設備の維持管理と安定運転	3
	水質汚濁防止	排水の水質の適正管理とリスク低減に継続的に取り組む。	・事業所排水関連設備・機器の維持管理と安定運転 ・各排水発生施設における自主管理値の遵守	★★★	・排水設備の維持管理および安定運転により、年間を通しての管理基準値を遵守	・事業所排水関連設備・機器の維持管理と安定運転 ・各排水発生施設における自主管理値の遵守	6
	廃棄物の適正管理と削減	廃棄物削減・リサイクル推進に継続的に取り組む。	・安定操業および減容・再資源化などによる発生量の抑制、処分量の減少 ・廃棄物の保管、処理に関わる法的責務の確実な遂行 ・廃棄物委託先における適正処理の計画的現地確認	★★★	・安定操業を継続し、廃棄物の予定外発生量を抑制 ・保管や委託時の適正管理、処理設備の維持管理を継続 ・いわき市内の廃棄物委託先の管理状況を現地確認 (コロナ禍のため、市外委託先は書面での管理状況の確認を実施)	・安定操業および減容・再資源化などによる発生量の抑制、処分量の減少 ・廃棄物の保管、処理に関わる法的責務の確実な遂行 ・廃棄物委託先における適正処理の計画的現地確認	8, 12, 13
	保安防災 事業所における保安防災	重大設備事故をゼロにする。	・グループ各社を含む各設備の安定・安全操業の継続 ・小規模訓練による緊急対応能力の向上、技能伝承、人材育成推進 ・過去のリスク対策や事故対策の継続管理の確認	★	・重大設備事故 1 件・軽微事故 26 件 (漏洩や車両による接触) ・総合防災訓練、社長保安巡察、本部長保安巡察、防災強化訓練 (日中、夜間)、各部個別訓練などを実施 ・実作業時の危険予知、間接部門・研究所のリスクアセスメントをテーマに活動を実施	・グループ各社を含む各設備の安定・安全操業の継続 ・さまざまなケースを想定した訓練による緊急対応能力の向上、技能伝承、人材育成推進 ・事故対策の確実な実行と維持管理の確認	13, 14
	労働安全衛生 / 物流安全 労働安全、人身事故撲滅の推進	重大人身事故をゼロにする。	・事故原因究明能力の維持と向上 ・危険予知活動、指差し呼称徹底、パトロール強化などによる事故防止 ・グループ各社の活動の相互確認・連携による安全レベルの強化	★★	・休業災害 5 件・不慮災害 13 件 (いわき事業所内グループ会社を含む) ・管理者を対象とした「なぜなぜ分析研修」の成果発表会を実施 ・事業所長パトロール (2 事業所合計 22 回実施) を活用した徹底的な現場確認と、是正方針の確認を実施 ・定修安全会議での定修重点項目の周知徹底 ・協力会社の監督者を対象とした安全教育を開始	・事故原因究明能力の維持と向上 ・技能研修センターの機能強化と研修対象者の拡大による事故の未然防止 ・グループ各社の活動の相互確認・連携強化による安全レベルの向上	
製品安全・品質保証 品質保証体制の強化 品質苦情の低減	お客様が価値を感じる高い品質レベル (クレハ品質) の製品を提供し続けている。	・異物混入を中心とした改善活動の推進と QMS のレベルアップ ・クレハグループ全体の品質情報の共有化と改善活動の協働 ・品質に関わる法規制の変化への遅滞なき対応	★★★	・異物混入対策を中心とした、部門間をこえた協働を実施。社外機関の評価も実施し、所期の年度目標を達成 ・品質情報の共有化推進と、リモートを活用したモニタリングの強化と改善活動を実施 ・グリーン調達ガイドラインの改定周知、関連調査を実施、安全審査を充実させ、法改定情報の収集と対応の実施	・異物混入を中心とした改善活動の推進と監査の実効性強化などによる品質問題の未然防止 ・クレハグループ全体の品質情報の共有化推進と効果的なモニタリングによる改善活動の協働 ・品質に関わる法規制の変化、新規事業や用途拡大における特殊規格などへの、遅滞なき対応		